

令和元年度大土山国有林外におけるニホンジカ生息状況調査について

令和2年2月12日

広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、喫緊の課題であるニホンジカによる被害の効果的な対策を進めていく上で必要なニホンジカの生息調査を、昨年度に引き続き、当署管内の大土山国有林、井ノ内山国有林、犬伏山国有林、亀谷山国有林、熊谷山国有林、星居山国有林及び新元重山国有林を調査対象地として実施しました。昨年度の調査結果を踏まえ、今年度調査では、区域を拡大しました。

調査は、ニホンジカの生息状況、分布区域等を把握するため、センサーカメラを用いた「カメラトラップ調査」を行いました。



調査対象区域（広島北部森林管理署管内）

調査期間中に撮影(確認)された動物種は、ニホンジカ、イノシシ、クマ、タヌキ、ノウサギなど10種、278頭で、その中で最も多く撮影されたのがニホンジカで217頭でした。国有林別では、井ノ内山国有林94頭、亀谷山国有林40頭、大土山国有林の34頭とニホンジカが撮影(確認)されました。

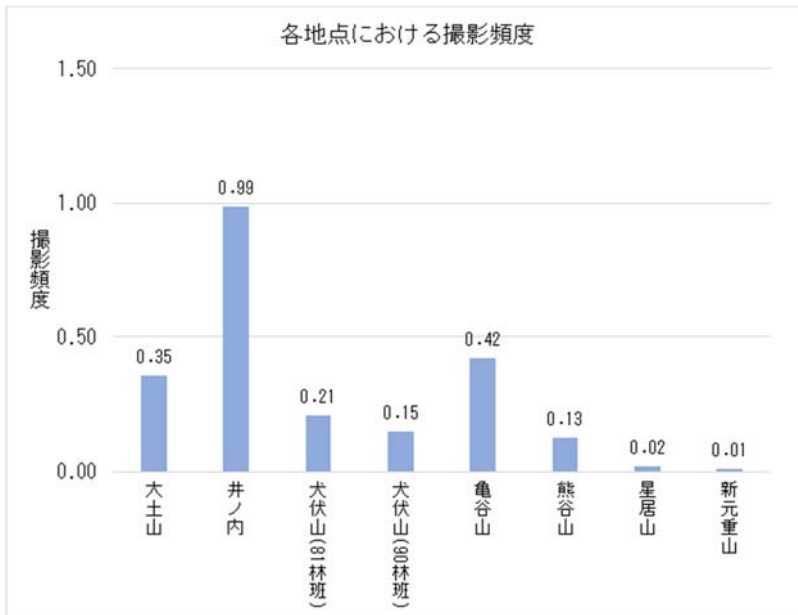
撮影されたニホンジカ217頭のうち、幼獣10頭、雄の成獣67頭、雌の成獣115頭が確認でき、生息とともに繁殖が更に進んでいることが確認できました。



センサーカメラ設置状況(熊谷山国有林)



ニホンジカ(成獣：井ノ内山国有林)



各地点の動物撮影頭数

広島北部森林管理署では、今回の調査結果を踏まえ、引き続き関係地方公共団体、
猟友会等と連携した効率的なニホンジカ捕獲に取り組めます。

なお、調査報告書については、広島北部森林管理署の **HP** で確認できます。